

## カメラキャリブレーションデータの利用について

公益社団法人 日本測量協会  
測量技術センター  
空間情報技術部

当協会で行うカメラキャリブレーションサービスは、解析ソフトに Photometrix 社の「iWitness」を使用しております。

このため、当協会が発行する「カメラキャリブレーション証明書」に記載するキャリブレーションパラメータは、写真測量ソフト・SfM ソフトの種類により、そのままの値で利用ができない場合がございます。

当協会のキャリブレーションパラメータの利用が確認できている、ソフト及びデータの利用方法は、下表のとおりです。

なお、詳細は各ソフトの開発メーカー様または販売店様にご確認をお願い致します。

### キャリブレーションパラメータの利用可能なソフト及びデータ利用方法一覧

開発会社名	ソフト名	データ利用方法	注意点
Bentley Systems 社	Context Capture	そのまま入力	-
inpho 社	MATCH-AT		-
アジア航測(株)	図化名人		-
Pix4D 社	Pix4D mapper		※一部入力順入れ替え
Agisoft 社	PhotoScan Standard , PhotoScan Professional	変換して入力	※付属ソフト使用
(株)トプコン	Magnet Collage , Image master シリーズ		※別ファイル作成

<2018年3月31日現在>

#### ●上記以外のソフトについて

ソフトの開発メーカー様または販売店様からお申し出があり、当協会のデータが利用できることが確認できた場合は、上記に追加掲載を致します。

※お使いのソフトへの、キャリブレーションパラメータの入力（入れ替えを含む）・変換につきましては、お客様の自己責任で行っていただきますようお願い致します。

以上